

産業まつりにぎわう

まつうら さい (彩・再・幸・菜) 発見大産業まつり

松浦商工会議所創立20周年記念事業の「まつうらさい発見大産業まつり」が9月19日、文化会館駐車場で行われました。

同まつりは、御厨・星鹿元気化プロジェクト「トラック朝市」や市内商店などをPRし、会員企業を含めた市内の商店を元気付けようと開催されたものです。

この日は、消防車やショベルカーなどの展示や遊具も設置され多くの人でにぎわいました。鮮魚コーナーで豆アジの詰め放題が行われると、多くの人が届いたばかりの新鮮な魚を買い求めていました。



まちの話題

Matsuura City Topics

市民の力作を展示

松浦市民文化祭

松浦市民文化祭(作品展示)が9月18日から20日にかけて、文化会館で開催されました。

期間中は、小学生234点、中学生146点の夏休みの子ども作品、高校・一般193点の書・写真・生け花・紙工芸などを展示。日ごろの制作活動の成果を発表した作品に、会場を訪れた人たちは芸術の秋を満喫しました。



いつまでもお元気で

各地区で敬老行事

9月20日の敬老の日になんで、市内各地区で敬老行事が開催されました。

毎年町全体で敬老式典が行われている今福町では、「今福地区敬老慶祝式典」(今福地区社会福祉協議会主催)が9月18日、今福中学校体育館で行われ、同地区の70歳以上のお年寄り約250人が出席しました。

式では、米寿、白寿を迎えた人と金婚夫婦に記念品が贈られました。式典後の演芸の集いでは、地域婦人会などが今福音頭や日本舞踊、三味線演奏などを披露し、お年寄りは楽しいひとときを過ごしました。



市内最高齢者に花束

市内最高齢となる池田まつをさん(調川・前浜、103)と、男性で最高齢となる大石武敏^{たけとし}さん(志佐・笛吹、98)に9月20日、友広市長から長寿をお祝いする花束が贈られました。

池田さんは、特別養護老人ホーム愛光園に入所中。長生きの秘訣は、好き嫌いをなく三度の食事をしっかり食べ、睡眠をしっかりとることですと話されていました。

大石さんは、妻と息子さんの3人暮らし。若いころは体育と国語の教員をし、剣道もされていました。日ごろは自分で墨をすって書道などをして過ごされています。



交通安全啓発かかしがお目見え

松浦市消防署福島出張所が設置

秋の全国交通安全運動実施期間中、福島町塩浜免の県道沿いに、消防署の制服を着用し「交通安全運動実施中」の幟旗を手に「交通安全」のタスキを袈裟懸けしたかかしがお目見えしました。

かかしは、松浦市消防署福島出張所署員が、交通安全活動に協力したいと作製、設置したもので、県道を通行中のドライバーや通行人への交通安全の呼び掛けに一役買いました。

かかしは、同期間終了後は、ほかの運動などにも活用される予定です。



六団体が合唱や演奏を披露

第1回オータムコンサート

松浦音楽連盟（浦順平理事長）設立記念・第1回オータムコンサートが9月20日、文化会館で開催されました。

同連盟は、松浦市の音楽文化を発展させようと、若手演奏家などが7月に設立。現在は団体1つと個人6人で構成されています。

同コンサートには、御厨中学校、志佐中学校、松浦高校の吹奏楽部、福島中学校音楽部、松浦少年少女合唱団とコーラスグループのコール御厨の6団体が出演。宇宙戦艦ヤマトやハナミズキなど有名な曲が演奏されると、会場では手でリズムを取ったり、手拍子したりする姿が見られました。



はっけよい

天満神社奉納子供相撲大会

調川町の天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会（天満神社主催）が9月23日、同神社境内で行われました。

この行事は、願成就・豊作のお礼と子どもの健全育成を願い、毎年開催されています。

今年は調川小学校の児童など約20人が参加。子どもたちは熱の入った取組を展開し、集まった多くの地域住民からは歓声や拍手が送られていました。



命の尊さを考える

命を守る交通安全大会

交通マナー&ライトWアップ作戦「命を守る交通安全大会」（松浦警察署、松浦地区交通安全協会、市主催）が9月23日、文化会館で開催されました。

大会では、6年前に交通死亡事故を起こした新上五島町の中野とよみさんが「命を背負って生きる」と題して講演。加害者の立場から交通事故の悲惨さ、命の尊さを涙ながらに訴えました。

また、山口修さん（ギタリスト）、純子さん（ソプラノ歌手）夫妻が、「星になったあかねちゃんコンサート」として、12年前に飲酒暴走運転の車に命を奪われた丸田あかねちゃんにちなんだ歌を披露したり絵本の朗読をしたりしました。来場した約300人の市民などは、真剣な表情で聞き入っていました。

